



学校だより

学校教育目標

夢をもち たくましく 挑戦する 児童生徒の育成

唐津市立加唐小中学校
第7号
令和4年5月26日発行
文責 校長 淵上 純

学級菜園づくり 5/19(木)

5時間目に、子どもたちと職員で学級菜園づくりを行いました。畑を耕し、肥料を入れて、畝を作り、黒マルチを敷いて、マルチに穴をあけて、苗を植えて、水をやりました。苗は、ミニトマト、キュウリ、ナスを植えました。



この一連の作業を子どもたち一人ひとりが楽しそうに行っていました。昨年度、経験している子どもたちは、職員が指示を出す前に自ら考えながらやっていました。大変素晴らしい協働作業だと感心していました。数か月後に実がなることがとても楽しみです。



三界萬霊の供養 5/23(月)

加唐小中学校のグラウンドで三界萬霊の供養がありました。グラウンドの西側は昔、お墓があったそうです。そのお墓と共に三界の萬霊を3年に1回供養するそうです。二人のお坊さんが来られて供養の念仏を唱えられました。

校長先生と多久島教頭先生も参加して、供養しながら今週末の体育大会が無事、できるようにお願いしてきました。



生徒昇降口横の写真掲示板 5/23(月)



生徒昇降口に「入学式」と「歓迎遠足」の写真掲示物が完成しています。これは、開田先生が制作した力作となっています。「入学式」の掲示物では、クレヨンを使ったはじき絵で桜を表現しているとのこと。学校にお立ち寄りの際には、ぜひ、ご覧ください。

合同スピーチ 5/25(水)



小川小学校と「合同スピーチ」を行いました。今日は、本校6年生が「やってみたいこと」についてスピーチをしました。その後、小川小のお友達から様々な質問があり、スピーチ者が丁寧に答えていました。

司会は本校4年生で、手が上がった時には、画面越しに小川小学校のお友達の名前をいいながら指名し、しっかり役割を果たすことができました。自分の考えを「話す力」、相手の考えを「聞く力」、自分の考えを持ち「質問する力」等の本校が進めている「実践的コミュニケーション能力の育成」につながるとても有意義な合同スピーチの時間でした。

マスクの着用について 5/25(水)

「マスクの着用」について、右のような記事が出ていました。[5/24(火)佐賀新聞]

加唐小中学校では、5/28(土)に行われる体育大会では、開閉会式と応援場所では、マスク着用、競技中はマスクを外してもいいように伝えていきます。また、登下校中についても会話が無い場合は、マスクを外してもいいと伝えていきます。

これから暑くなりますので、熱中症等に注意しながら、学校学校生活をおくるように指導していきます。

学校の体育「マスク不要」

政府、対処方針を改定

政府は23日、新型コロナウイルス対策の指針「基本的対処方針」を改定し、屋内外でマスクを外せる状況を初めて明記した。20日に厚生労働省がまとめたマスク着用に関する考え方を反映した。学校では十分な身体的距離が確保できる場合や体育の授業で着用の必要はないとした。特に、気温が高い夏は熱中症対策を優先し、マスクを外すよう指導する。

運動部の部活動は、競技によってはマスク着用を求めている場合もあるため、各競技団体のガイドラインを基に判断してもらう。ただ、練習場所や更衣室、食事、集団での移動では、マスク着用を含めた感染対策を徹底する。

屋外では周囲と2m以上離れていなくても会話をほとんどしない場合はマスクを着ける必要がない。屋内では、周囲との距離が十分に会話をほとんどしないのであればマスクは不要だが、距離が近かったり会話をしたりする場合は着用を推奨する。

着けるのは不織布マスクを勧めている。2歳以上の子どもには保育園や幼稚園での着用を一時的に推奨していたが、方針を変え、一律には着用を求めない。